

諸富ゼミの活動報告



令和4年入学 石 黒 剛

諸富ゼミでは、財政学や環境経済学に関する幅広い分野の学習と研究を行っています。ゼミは毎週水曜5限に活動しており、前期は財政学・環境経済学に関する書籍の輪読を行いながら、3回生はグループ論文執筆に向けたテーマ設定を進めていきます。今年度は、財政班が「北九州市の産業転換と学術研究都市」、環境班が「燃料価格抑制のCO₂排出量への影響分析」をテーマに研究を行いました。

研究の成果は、インゼミの場で発表します。今年度は、11月に慶應義塾大学の井手ゼミと、12月に京都府立大学の川勝・三宅両ゼミとインゼミを行いました。両インゼミとも、今年度は先方の大学へお招きいただき、お互いの研究に対して忌憚なき意見交換を行うことができました。両大学の皆様には改めて御礼申し上げます。

諸富ゼミでは、諸富先生のご指導のもと、自由闊達かつ学生の自主性を尊重する環境で、思う存分関心のある分野を学ぶことができます。研究のテーマはもちろん、ゼミの運営、年二回の合宿先さえも我々学生で話し合うことができます。今年度は6月に福井県大野市で地下水の利用について学習し、9月には北九州市で学術研究都市の取り組みを学びました。ゼミの運営に関しても、今年度は財政学の書籍の輪読に、ディベートの時間を試験的に取り入れました。学生が主体的に試行錯誤をしながら、学びをより深めようとする気風を日々感じます。

こうした学生の主体性をサポートしてくれるのが、年次を超えた学生の強いつながりです。前述したように、現役の学生同士は、年二度の合宿で親睦を深め、かつ共

同研究に向け互いの興味をすり合わせることができます。さらに、財政・環境各班で週に一回行うサブゼミでは、諸富研の博士課程の先輩方がTAとして、年間を通して研究や学習に関するアドバイスをくださいます。

諸富研同窓生のつながりは、京大の中だけにとどまりません。諸富研では年に一度、同窓会『諸水会』を開催しています。今年度は直近の三月に諸水会を開催し、政財界で活躍される同窓生の講演や座談会が行われました。我々現役の学生にとっても、社会で活躍している20年以上上の諸先輩方と同じ机を囲んで歓談する、とても貴重な機会になりました。

最後になりますが、諸富ゼミの学生としての一年は、知的好奇心と学びに溢れていたと振り返って思います。お世話になった先輩方を送り出し、新3回生を10人迎えて始まる2025年度のゼミも、今から楽しみでなりません。

